

# 山崎高等学校 校歌



作詩 竹中 郁

作曲 川澄 健一

(昭和54年作)

一 朝の挨拶 あかね色

今日一日の はじまりに

こころの扉 ひらく音

山河きよし 空ひろし

額の知恵の 陽炎や

ふるさとの腕の圍いあたたかき

山崎 わが土 わが母校

二 影は飛び交う 友と友

西に東に 羽ばたけば

こだまは集う 丘の上

山河きよし 空ひろし

未来へ道の 長ければ

忘るまじ結び目かたき語らいを

山崎 わが土 わが母校

三 生きて学んで この窓に

肘のせかけし 年月よ

澄み切る底の 金砂子

山河きよし 空ひろし

地球の岬 佇つわれら

胸板にしぶきを浴びて誇るかな

山崎 わが土 わが母校

# 山崎高等学校 生徒会歌



作詞 小倉 悠丘

作曲 秋月 直胤

(昭和27年作)

一 山うるはしき 播磨路の

啓示あふるる 学び舎に

血汐ぞたぎつ 若人が

真理の道を 求めつつ

仰ぐ希望の 雲白し

二 水きよらなる 揖保川の

瀬音を胸に たゆみなく

不屈の精神 培ひて

理想を高く かざしつつ

拓け明るき 自治の学園

三 あ、青春の 眉あげて

いとも栄えある 山高の

歴史を永久に 飾るべく

尊き使命 担ひつつ

進む前途に 光あれ